



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 英夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐々木 憲一

TEL 03-6418-4391

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	925	21.5	72		54		82	
29年3月期第2四半期	761	69.0	32		51		54	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 77百万円 (%) 29年3月期第2四半期 54百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.93	
29年3月期第2四半期	1.27	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,617	3,440	61.2	80.55
29年3月期	5,697	3,362	59.0	78.73

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,440百万円 29年3月期 3,362百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,890	5.6	160	60.3	120	95.3	120	381.7	2.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 日本レース株式会社

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	42,728,733 株	29年3月期	42,728,733 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	16,755 株	29年3月期	16,386 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	42,712,182 株	29年3月期2Q	42,712,347 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第137回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益は1円40銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の不安定な政策運営や北朝鮮情勢の緊迫化がもたらす地政学的なリスク及び金融資本市場の変動による影響等、世界経済の不確実性を反映した先行き不透明感は否めないものの、国内に目を転じますと、企業収益が上向くにつれてそれに連動するかたちで雇用情勢や所得環境も持ち直しの方向にあり、総じて景気は緩やかな回復基調を継続してまいりました。

個人消費については、徐々に持ち直してはいるものの、将来不安を背景とした節約志向から、底堅さのなかにも力強さに欠ける傾向のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは「不動産」「繊維」「化粧品」「温浴」の4事業を柱として、国内市場を主軸に顧客ニーズの変化への対応と新たな需要の喚起を推進しつつ、業務の効率化とコスト削減も進めてまいりました。また、グループ戦略の観点から、経営資源の選択と集中による経営効率の最適化についても検討を重ねてまいりました。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有するビルのテナント料及び住居部分の賃料につきまして、継続して安定した収入を得ることができました。また、長野県北佐久郡軽井沢町の宅地分譲地につきましては、当第2四半期連結会計期間において、販売中の残りの全区画について売却の見通しが立ったことに伴い、当該販売用不動産を適正価格にて評価いたしました。その結果、当事業の売上高は前年同四半期に比べ0.7%増加し9千8百万円となったものの、たな卸資産評価損を売上原価に計上したことから、営業利益は前年同四半期に比べ30.2%減少し4千9百万円となりました。

繊維事業では、婦人服業界のファッション傾向の変化の煽りを顕著に受けており、前連結会計年度から減少に転じた趨勢は改善の兆しが見られないまま、レース素材の受注も小型化の傾向が続いてまいりました。その中において、第1四半期連結会計期間から引き続き、多色使いの刺繍物の分野で善戦をいたしました。特に、大きな花柄の民族調のデザインに人気があり、カジュアル系ファッションのファン層を中心としたリピーターの獲得に貢献しました。しかしながら、当事業の売上高は前年同四半期に比べ39.2%減少し2千万円、営業利益は前年同四半期に比べ88.3%減少し219千円となりました。

なお、当事業につきましては、平成29年8月1日付で当社が連結子会社でありました日本レース株式会社より譲受け運営を行っております。

化粧品事業では、時間に追われる現代女性の嗜好にベストマッチしたオールインワン美容液が、前連結会計年度からの盛況をさらに上回り、大好評のうちに推移いたしました。また、「ふたえナイトパック」も依然として好調で、そのシリーズ品もラインナップされるほか、米エキスをを使用した洗顔用品、ホテル向けのアメニティ用品及びペット用商品等にも堅調な需要が見られました。その結果、当事業の売上高は前年同四半期に比べ30.7%増加し1億6千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ284.7%増加し3千3百万円となりました。

なお、当事業を運営しております連結子会社の日本レース株式会社につきましては、当社グループ戦略として中核事業に経営を集中すべきであるとの判断から、当社が保有する同社の株式をすべて譲渡したことにより、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯」が、大都会の真ん中で癒しの空間のご提供を開始してから、平成29年8月で2周年を迎えることができました。

第1四半期連結会計期間から導入しました「水素水入り泥パック&塩サウナ」が、ミネラルたっぷりの泥パックとデトックス効果が期待できる塩のコラボレーションをお楽しみいただけると好評を博しているほか、岩盤浴のリニューアルや「死海の泥パック」「クールヘッド&リフレッシュリンパ」等の2周年限定イベントによるキャンペーンが呼び水となって、入館者数の増加に大きく寄与しました。

また、テレビ各局の情報番組での放映や各種情報誌への掲載など、メディアによる宣伝効果に伴う認知度アップを背景に、「美食」と「スパ・エステ」という福利厚生要素を併せ持った企業向けの大規模親睦会を定期的に受注するなど、団体顧客の獲得にも積極的に取り組んでまいりました。その結果、当事業の売上高は前年同四半期に比べ27.3%増加し6億4千万円、営業利益6千1百万円（前年同四半期は営業損失3千8百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の来館者数は、前年同四半期より2万3千人増加して15万1千人となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は9億2千5百万円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益7千2百万円（前年同四半期は営業損失3千2百万円）、経常利益5千4百万円（前年同四半期は経常損失5千1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益8千2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5千4百万円）となりました。

なお、当社が株式上場しております東京証券取引所におきまして、従来当社株式の所属業種は「不動産業」に分類されておりましたが、平成29年10月1日より「サービス業」に変更されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比較して7千9百万円減少し、56億1千7百万円となりました。負債は、長期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して1億5千7百万円減少し、21億7千7百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末と比較して7千7百万円増加し、34億4千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、7千万円減少し、3億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1億5千7百万円（前年同四半期は1億8千5百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益を計上したことによるものやたな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億4千7百万円（前年同四半期は1千5百万円の使用）となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8千1百万円（前年同四半期は8千5百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	378,320	307,530
受取手形及び売掛金	116,320	38,620
商品及び製品	13,445	3,807
仕掛品	2,136	—
原材料及び貯蔵品	31,054	899
販売用不動産	266,630	242,082
その他	13,219	308,065
貸倒引当金	△600	△82
流動資産合計	820,527	900,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,497,057	2,404,179
機械装置及び運搬具（純額）	111,351	96,322
工具、器具及び備品（純額）	78,902	65,764
土地	1,926,572	1,893,852
有形固定資産合計	4,613,883	4,460,117
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	12,133	8,558
ソフトウェア仮勘定	756	—
電話加入権	2,086	1,933
無形固定資産合計	98,422	93,937
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	164,668	163,032
貸倒引当金	△770	△770
投資その他の資産合計	164,498	162,862
固定資産合計	4,876,804	4,716,916
資産合計	5,697,331	5,617,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,089	42,763
1年内返済予定の長期借入金	183,024	183,024
未払法人税等	32,233	820
賞与引当金	4,117	2,834
株主優待引当金	—	2,804
未払金	53,738	43,730
その他	82,633	57,164
流動負債合計	410,836	333,140
固定負債		
長期借入金	1,620,607	1,539,470
資産除去債務	153,603	151,376
再評価に係る繰延税金負債	35,312	29,771
繰延税金負債	41,691	44,987
長期預り金	72,623	78,634
固定負債合計	1,923,838	1,844,239
負債合計	2,334,674	2,177,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,527,811	100,000
資本剰余金	26,902	3,454,714
利益剰余金	△269,659	△168,313
自己株式	△2,181	△2,231
株主資本合計	3,282,873	3,384,168
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	79,783	56,292
その他の包括利益累計額合計	79,783	56,292
純資産合計	3,362,657	3,440,461
負債純資産合計	5,697,331	5,617,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	761,919	925,625
売上原価	669,283	737,145
売上総利益	92,635	188,479
販売費及び一般管理費	124,830	116,104
営業利益又は営業損失(△)	△32,194	72,375
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	7	7
未回収利用券受入益	1,263	1,176
受取補償金	—	925
その他	2,210	1,302
営業外収益合計	3,484	3,414
営業外費用		
支払利息	21,947	19,071
その他	853	2,050
営業外費用合計	22,801	21,121
経常利益又は経常損失(△)	△51,511	54,668
特別利益		
関係会社株式売却益	—	30,188
特別利益合計	—	30,188
特別損失		
減損損失	—	1,720
固定資産除却損	1,308	246
特別損失合計	1,308	1,966
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,820	82,890
法人税、住民税及び事業税	2,869	6,616
法人税等調整額	△1,277	△6,144
法人税等合計	1,592	472
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,412	82,417
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,412	82,417

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,412	82,417
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	△4,563
その他の包括利益合計	—	△4,563
四半期包括利益	△54,412	77,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,412	77,854
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,820	82,890
減価償却費	122,946	114,329
減損損失	—	1,720
貸倒引当金の増減額(△は減少)	598	△91
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,876	296
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	2,804
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払利息	21,947	19,071
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△30,188
有形固定資産除却損	1,308	246
売上債権の増減額(△は増加)	7,017	1,913
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,508	28,310
仕入債務の増減額(△は減少)	6,326	△1,887
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,379	△30,141
未収消費税等の増減額(△は増加)	141,309	—
長期預り金の増減額(△は減少)	143	6,011
その他の資産の増減額(△は増加)	93	△1,250
その他の負債の増減額(△は減少)	△4,087	4,557
小計	210,522	198,582
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△21,749	△16,285
法人税等の還付額	0	—
法人税等の支払額	△2,895	△24,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,886	157,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,925	△11,433
有形固定資産の売却による収入	—	31,000
無形固定資産の取得による支出	△6,350	△300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△166,779
差入保証金の回収による収入	75	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,201	△147,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△85,962	△81,137
自己株式の取得による支出	—	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,962	△81,187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,723	△70,789
現金及び現金同等物の期首残高	222,236	378,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	306,960	307,530

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

平成28年6月29日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金1億7千5百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において資本準備金が1億7千5百万円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

平成29年6月29日開催の定時株主総会の決議により、平成29年8月4日付で会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金34億2千7百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金1億7百万円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が34億2千7百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末における資本金は1億円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、当社の特定子会社である日本レース株式会社の株式をすべて譲渡したことにより、日本レース株式会社は当社の特定子会社に該当しないことになり、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(重要な後発事象)

1. 株式併合及び単元株式数の変更等

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会において、平成29年6月29日開催の第137回定時株主総会に株式併合及び単元株式数の変更について付議することを決議し、同定時株主総会で承認可決され、平成29年10月1日でその効力が発生しております。

(1) 株式併合及び単元株式数の変更の目的

東京証券取引所をはじめとする全国証券取引所では、「売買単位の集約に向けた行動計画」に基づき、平成30年10月1日までにすべての国内上場会社の普通株式の売買単位を100株に統一することを定めました。

当社は、東京証券取引所に上場する企業としてこの趣旨を尊重し、平成29年10月1日をもって、当社の単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

あわせて、単元株式数を変更するにあたり、個人投資家による投資機会の拡大及び中長期的な株価変動等を勘案しつつ、投資単位を適切な水準に調整することを目的として、当社普通株式2株を1株にする株式併合を実施いたしました。

(2) 株式併合の内容

① 株式併合する株式の種類

普通株式

② 株式併合の方法・比率

平成29年10月1日をもって、平成29年9月30日（事実上9月29日）の最終の株主名簿に記録された株主の所有株式数2株につき1株の割合をもって併合いたしました。

③ 株式併合により減少する株式数

株式併合前の発行済株式総数（平成29年9月30日現在）	85,457,466株
今回の株式併合により減少する株式数	42,728,733株
株式併合後の発行済株式総数	42,728,733株

(注) 「株式併合により減少する株式数」及び「株式併合後の発行済株式総数」は、併合前の発行済株式総数及び株式併合の割合に基づき算出した理論値であります。

(3) 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき一括して処分し、その処分代金を端数の生じた株主に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

(4) 効力発生日における発行可能株式総数

140,000,000株

株式併合の割合にあわせて、従来の280,000,000株から140,000,000株に減少いたしました。

(5) 単元株式数の変更の内容

株式併合の効力発生と同時に、普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

(6) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△1円27銭	1円93銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 借入金の一部返済

当社は、平成29年10月19日開催の取締役会において、下記のとおり既存の借入金の一部返済について決議し、平成29年10月31日付で実行いたしました。

(1) 借入金の一部返済の内容

① 借入先	株式会社東日本銀行
② 返済前借入金残高	1,435,400,000円
③ 一部返済金額	406,350,000円
④ 返済後借入金残高	1,029,050,000円
⑤ 一部返済実行日	平成29年10月31日

(2) 一部返済に至った経緯及び返済の理由

- ① 平成29年9月21日開催の取締役会において、連結子会社である日本レース株式会社の当社保有全株式の譲渡について決議し、平成29年9月29日付で総額300,000,000円にて株式会社東洋発酵に譲渡いたしました。
- ② 同日開催の取締役会において、長野県北佐久郡軽井沢町に販売用不動産として保有する宅地分譲地につきまして、販売中の残りの全区画の売却について決議し、平成29年10月3日付で総額100,000,000円にて売却いたしました。

上記①、②で得られた手許資金を原資として、当該借入金のうち406,350,000円を期限前に返済し、有利子負債残高の減少及び支払利息の軽減により、一層の財務体質強化を図るものであります。